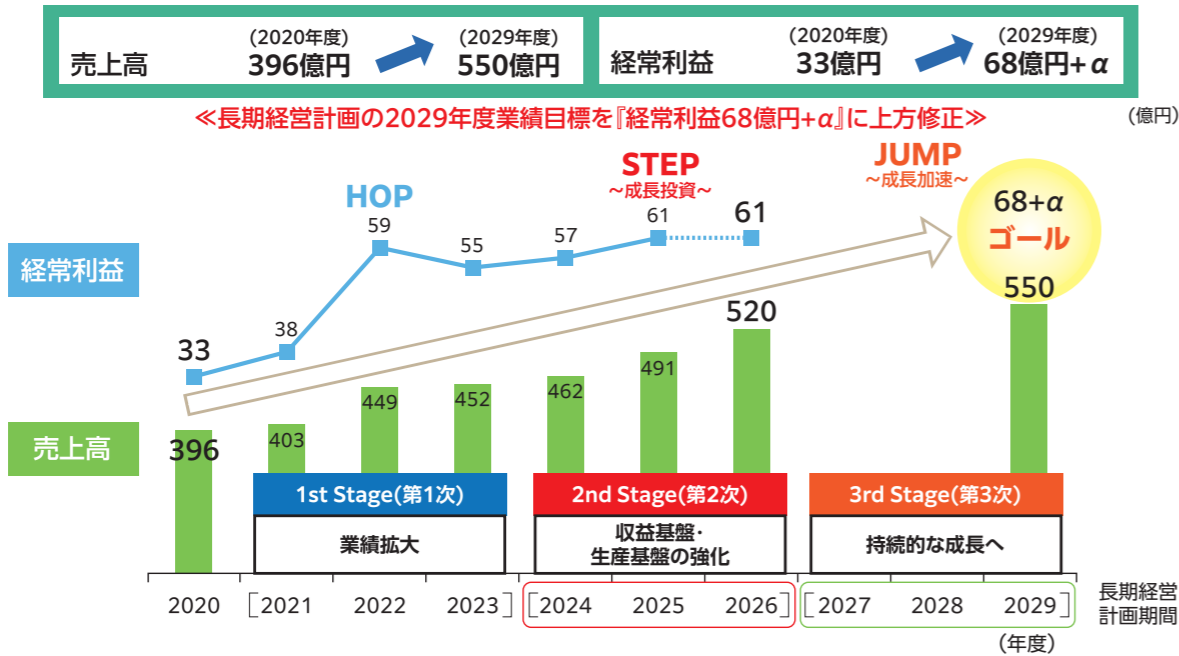


# 経営計画

当社グループは、2029年度をゴールとする長期経営計画「HOKKO Value Up Plan 2029」において、将来のあるべき姿に向かって持続可能な成長を成し遂げるとともに、サステナビリティの向上、マネジメントの高度化、スマート化の推進に取り組んでいます。

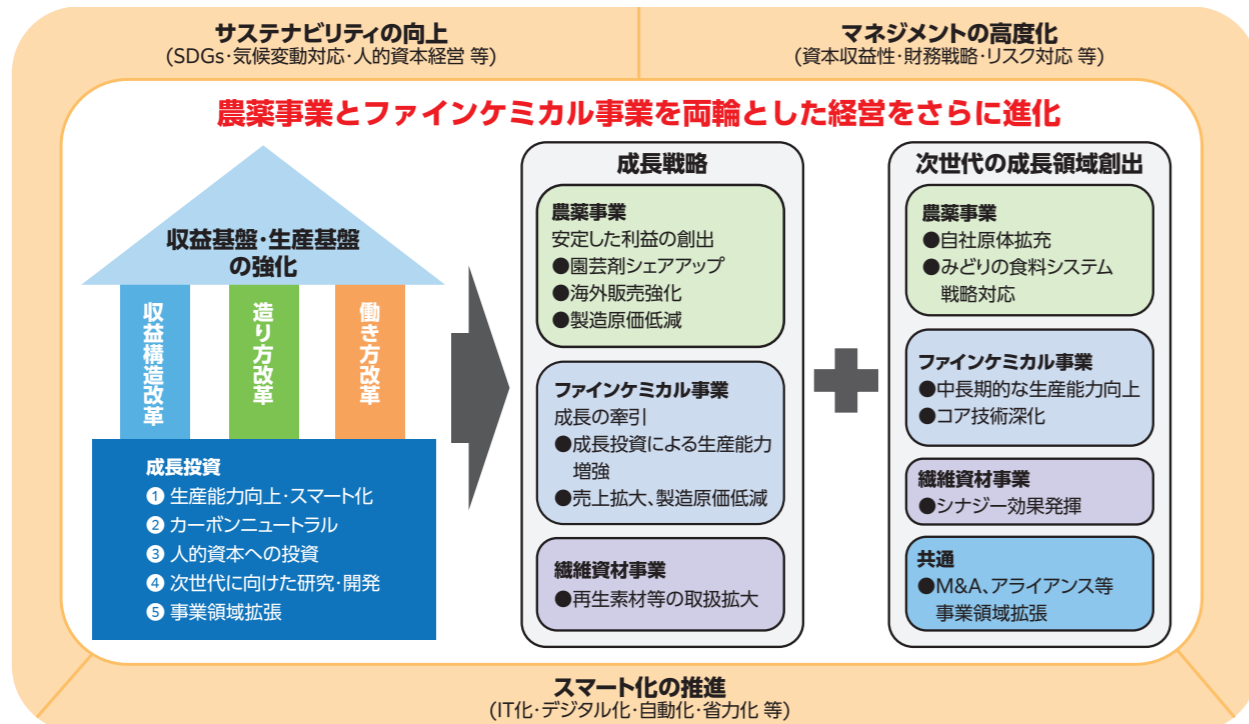
## 長期経営計画 HOKKO Value Up Plan 2029 未来は創造できる ～強く、豊かなHOKKOへ～



## 第2次3カ年経営計画 HOKKO Value Up Plan 2029 2nd Stage (2024~2026年度) の概要

### 1 計画の全体像

生産能力向上等の成長投資を基盤に、前計画から継続して取り組む3つの改革(収益構造改革、造り方改革、働き方改革)を柱として、収益基盤・生産基盤を強化していきます。



## 2 経営目標

経営計画への着実な取り組みにより、農業事業・ファインケミカル事業の双方の業績が順調に推移していることから、第2次3カ年経営計画の業績目標および長期業績目標を上方修正しました。

(単位: 百万円)

業績	1st Stage (2021~2023年度)		2nd Stage (2024~2026年度)		3rd Stage (2027~2029年度)	
	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度業績目標	長期業績目標 (2029年度)	
業績	売上高	45,227	46,195	49,125	52,000(48,800)	55,000(52,000)
	経常利益	5,474	5,691	6,083	6,100(5,500)	6,800+α(6,000)
資本収益性	ROE	8.8%	8.6%	9.0%	8%以上	—
	ROIC	5.8%	6.3%	5.8%	6%以上	—
財務健全性	自己資本比率	69.3%	70.7%	68.2%	60%以上を維持	—

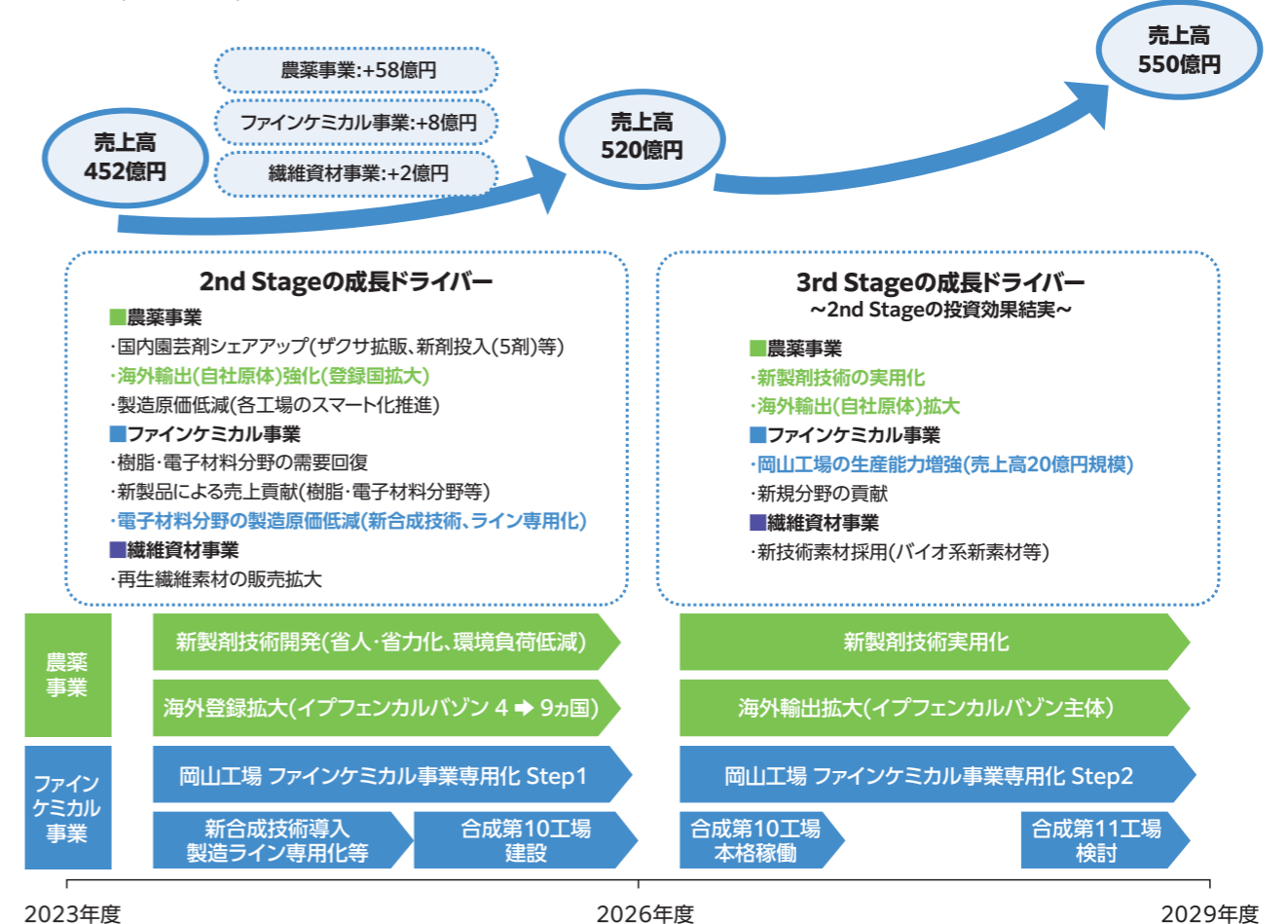
※2026年度想定為替レート1ドル145円 ※(カッコ内): 修正前業績目標

## 3 成長戦略

### ① 成長投資

- 成長を牽引するファインケミカル事業の生産能力増強(樹脂、電子材料分野等)、サステナビリティ向上、次世代に向けた成長領域創出を主体として、成長分野への設備投資・投融資を進めます。
  - ・ 成長投資の実行に向け「戦略的設備投資・投融資枠100億円」を設定
  - ・ 事業領域の拡大に向けたM&A・アライアンスの活用検討を加速し、投融資枠を機動的に増枠
- 併せて、農業の再評価・新製剤技術開発・新技術開発に向けた研究開発、人的資本投資拡充を加速します。

### ② ゴール(2029年度)に向けたロードマップ



#### 4 事業戦略と具体的な取り組み

##### 農薬事業

収益力向上に向け、国内農薬の生産体制の抜本的な見直しと成長する海外市場での売上拡大を柱とする事業の再構築を推進しています。また、自社原体拡充、新剤の開発、みどりの食料システム戦略への対応に取り組んでいます。

事業戦略	具体的な取り組み
① 国内販売強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>省力化志向に向けた高拡散性粒剤「楽粒®」の品目拡充および普及拡大(2025年度上市6剤)</li> <li>園芸剤「ザクサ®液剤」の拡販</li> </ul>
② 海外市場への取組強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社原体イプフェンカルバゾンの登録国拡大(2025年度末:8カ国登録済み)</li> </ul>
③ 製造コスト低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産拠点の集約化推進(2030年度を目的に、2拠点(北海道工場、新潟工場)に集約)</li> <li>自動化・省力化に向けた設備導入</li> </ul>
④ 研究開発強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規原体の創製</li> <li>スマート農業(ドローン散布等)、使用者暴露低減に対応した新たな製剤技術の確立</li> </ul>
⑤ 「みどりの食料システム戦略」への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオスティミュラント剤等の導入(2025年度にバイオスティミュラント剤「Envita®」を上市)</li> <li>化学農薬使用低減に対応した製品の開発</li> </ul>

##### ファインケミカル事業

農薬事業の生産拠点を計画的に集約することにより、岡山工場のファインケミカル事業専用化を実現し、同事業の持続的な生産能力増強を目指しています。また、営業体制・研究開発力を強化することにより、電子材料分野(半導体素材)を軸に、ファインケミカル事業の売上高拡大に取り組んでいます。

事業戦略	具体的な取り組み
① 持続可能な生産体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山工場内設備の有効配置の推進(農薬製造ライン跡地の有効活用、設備集約による省力化・省人化)</li> <li>原料の安定的な調達(サプライチェーンの見直し、酸化エチレンタンク新設等)</li> <li>リスク対策による工場の安定的な稼働</li> </ul>
② 高収益体質の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>原料の最適化による製造原価低減(イソブチレン供給設備の設置等)</li> <li>省エネ、省資源設備の導入(再生油ボイラーの設置等)</li> </ul>
③ 持続的な成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産能力の増大(KrFレジスト用原料専用工場 2027年1月竣工予定)</li> <li>新規製品の開発(2025年7月に新規ホスフィン配位子「TIBDPP」をプレスリリース)</li> <li>新技術の開拓(グリニャール反応の深化等)</li> </ul>

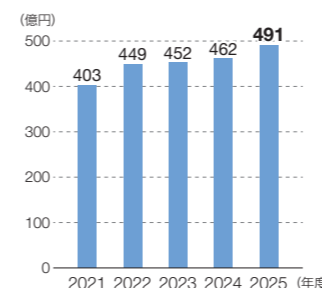
##### 繊維資材事業

環境に配慮した商品(再生繊維素材、バイオ系新素材等)の開発・販売の強化に取り組んでいます。

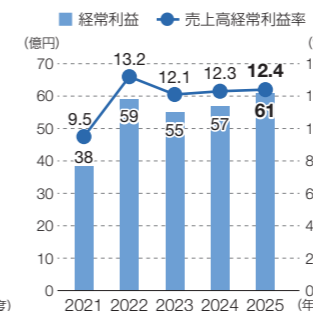
#### 共通

事業戦略	具体的な取り組み
① マネジメントの高度化	<p>中長期的な企業価値向上を目指し、積極的な成長投資による成長戦略の実践と資本効率向上への取り組みを進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「資本コスト・株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート、進捗管理</li> <li>成長戦略の実践による資本収益性の向上(新工場建設等の戦略的設備投資、農薬事業の収益力向上等)</li> <li>株主還元(総還元を含む)の充実</li> <li>政策保有株式の縮減(2030年度までに対純資産比率20%未満)</li> </ul>
② スマート化の推進	<p>業務のさらなる効率化・省人化に向け、基幹システムの刷新に向けた対応および刷新を契機とした業務プロセス改善やDX化を推進しています。</p>

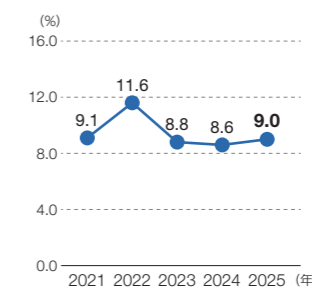
●売上高



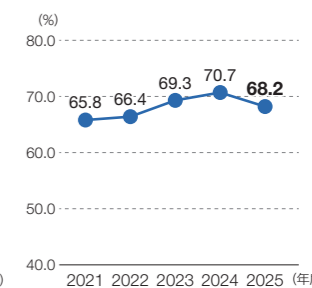
●経常利益/売上高経常利益率



●ROE



●自己資本比率



#### TOPICS

**公式YouTubeチャンネル** URL: <https://www.youtube.com/@hokkochemical>  
 当社公式YouTubeチャンネルを開設しました(2025年1月6日)。

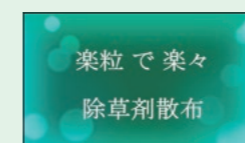


#### 北興化学工業グループ紹介



##### 農薬事業

製品紹介: 楽粒®, エンビタ®



##### ファインケミカル事業

事業紹介: PTBST®(KrFレジスト用原料)

